

# 能の世界へようこそ

## 府中 児童が謡や舞を体験



能楽体験で太鼓の打ち方を教わる児童たち。左から、教える大島紀恵さん、衣恵さん、文恵さん

めて催し、市内や近郊の児童五十四人と保護者が参加した。

福山市から、喜多流大島能楽堂の大島衣恵さん(33)、文恵さん(30)、紀恵さん(27)の三姉妹を講師に招いた。子どもらは、天女伝説の能「羽衣」を題材に、紙芝居でストーリーを教わり、謡に合わせて見せどころを舞う略式の「仕舞」を鑑賞した。

能楽器の太鼓や小鼓の演奏、謡にも挑戦。「小鼓を打つ時は、手首の力を抜いて」「声は、遠くの人に呼び掛けるように」。講師三人の手本を見聞きしながら、懸命にまねた。舞の型も習い、扇を右手に携えてすり足でゆっくり進む動作を何度も繰り返し練習した。

府中市立南小六年の

戸田あかりさん(11)は「初めて知ることばかりで、とても楽しかった。能に興味がわきました」と喜んでいました。(松本恭治)

back

08/06/30 中国新聞

小学生が能の世界に触れる「子ども能楽た」府中市府川町の市文化センターであった。府中法人会と市教委が初